

2014 第1回世界空道

ジュニア選手権日本代表選抜選考大会

豊田大谷高等学校空道部顧問 山本真司

今秋4年に1度行われる「第4回世界空道選手権大会」が東京にて開催される。そこで今大会より、高校生枠(U-19)が設けられ「第1回世界空道ジュニア選手権大会」として同期間にて実施される。その日本代表選手を選考するための最終試合が、5月10日(土)に宮城県仙台市で行われた。本校からの出場者は過去の大会にて上位入賞を果たした3名。

他の出場選手も他地区の猛者ばかりで、さすが代表選手を選考するだけの試合内容ともなった。そんな厳しい状況の中、男子(身体指数240未満)の部に出場した3年川下義人が、昨秋の「2013全日本空道ジュニア選手権大会」に引き続き、優勝を果たした。

7月より随時「強化選手合宿」も行われることとなり、今回出場した残りの2名も勝敗は関係なく、合宿への参加の可能性も予定されている。

他国の選手は同年代とはいえ、身体能力・体力・意識の高さは日本人を遙かに上回ると考えられる。そして、競技の特性上かなり激しい闘いが

予想されることから、

代表の選考は非常に慎重に行われる見通しである。

今回の大会も含め、これらの結果は脚光を浴びる選手たちだけの力ではなく、日頃から同じ時間を過ごし、歯を食いしばり、共に汗を流した部員たちがいるからこそその結果であり、またその部員たちを毎日支えていただける保護者の方々のご理解とご協力があるからこそです。周りで支えていただける方々皆のおかげであることに心から感謝を致します。

本校より、『日の丸』を付ける選手が出ることを期待し、またその際には是非学校をあげての応援・声援をお願いしたいと思います。

